

菅平小水力発電施設建設工事 評価項目

| 非価格評価項目                |   | 記載要領：提案を求める事項<br>(様式集及び提案記載要領に明記)  | 最大枚数<br>様式番号                                  | 配点  | 評価の視点<br>(優先交渉権者決定基準に明記)  |
|------------------------|---|--|---|---|---|
| 大項目                    | 中項目   |  |   |   |   |
| 事業全体に関する項目<br>145点     | 1 事業全体方針  | 次の点を含めて記載してください。<br>・本事業に対する理解、事業方針、コンセプト  | A4×1枚<br>様式4-(3)-①                            | 15点   | ・事業目的に対する理解がなされたうえで、事業特性を踏まえた的確で魅力のある事業方針、コンセプトとなっているか。<br>・他の評価項目と整合が取れているか。   |
|                        | 2 事業実施体制及び実績  | 次の点を含めて記載してください。<br>・県が付与した資格総合点数<br>・応募者又は下請け予定者について、以下要件を元請又は自ら履行した実績（平成18年4月1日以降のもの）<br>【調査・設計】発電出力が200kW以上の水力発電所における、新設又は大規模改修に係る基本又は詳細設計<br>【土木一式工事】発電出力が100kW以上の水力発電所における、新設又は大規模改修に係る工事<br>【電気工事】発電出力が100kW以上の水力発電所における、新設又は大規模改修（分解点検業務を含む）に係る工事<br>・事業実施方針と体制図（有資格者等の主要な技術者を含む）<br>・事業に関わる企業とその役割分担<br>・業務期間中の発注者との連絡体制<br>・県側の人的負担を軽減するための方策 | A4×4枚<br>様式4-(3)-②                            | 20点   | ・事業に関わる企業が、健全な経営状況を維持したうえで、本事業の円滑な実施に寄与する業務実績を有しているか。<br>・事業に関わる企業について、役割分担が明確に示されているか。<br>・必要とされる有資格者、技術者等の配置方針が妥当であり、その配置が、継続的かつ確実に見込めるか。<br>・各業務の指揮命令系統が明確化されており、事業の適切なマネジメント及び安定的かつ円滑な事業実施が期待できる体制が構築されているか。<br>・本事業に係る県側の負担を軽減するための効果的な取組方針や円滑な事業遂行のための具体的で効果的なコミュニケーション方法が提案されているか。 |
|                        | 3 リスク対応策  | 次の点を含めて記載してください。<br>・リスクに対する基本方針とリスク分担及びその対応策  | A4×2枚<br>様式4-(3)-③                            | 20点   | ・主要なリスクの把握とその基本的な方針の考え方が示されているか。<br>・当該リスクを顕在化させないためのリスク対応策について、具体的かつ合理的な提案がなされているか。  |
|                        | 4 事業スケジュール  | 次の点を含めて記載してください。<br>・発電運用開始までのスケジュール<br>・設計・施工一括発注方式を最大限に活用した工程管理及び工程短縮に関する提案<br>・工程表  | A4×3枚<br>様式4-(3)-④-i<br>A3×1枚<br>様式4-(3)-④-ii | 30点   | ・事業に必要な許認可や各種届出など事業開始に向けたクリティカルパスが網羅されるほか、河川や自然環境の特性に応じた適切な工期設定等、事業遂行の確実性のあるスケジュールが示されているか。<br>・遅延のない適切な工程管理ができていますか。（工程の実現性、工程管理方法の具体性）  |
|                        | 5 しゅん工後のアフターサービス  | 次の点を含めて記載してください。<br>・発電施設機能の確認方法、設備機器の調整や点検メンテナンスが必要となった場合の対応方法、連絡体制、フォローアップ体制や期間<br>・しゅん工後の引き渡し計画   | A4×1枚<br>様式4-(3)-⑤                            | 40点   | ・しゅん工後のアフターサービスについて、土地改良区が施設を維持管理するうえで有効な提案がされているか。<br>・しゅん工後の引き渡しを円滑かつ確実に行うために、ノウハウの引継ぎや情報開示について具体的に示されているか。   |
|                        | 6 地域貢献<br>(県内企業の参画)   | 次の点を含めて記載してください。<br>・県内企業の参画方法とその確実性<br>・県内企業活用に対する定量的な方策  | A4×3枚<br>様式4-(3)-⑥                            | 20点   | ・県内企業が共同企業体の構成員や協力企業※1等としての参画が確実である根拠が示された提案がされているか。<br>・地元下請け比率や発注比率等、県内企業に対する定量的な方策が提案されているか。<br>（地元参画のポジション別の評価については、共同企業体の構成員、協力企業、その他の順に評価する<br>県内企業の本店所在地別の評価は、上田、東信、県内の順に評価する）<br>※1) 提案書に企業名を明示して応募者の下請け又は委託先企業として参画する企業を指す。  |
| 設計建設業務に関する項目<br>175点   | 7 設計業務の基本方針   | 次の点を含めて記載してください。<br>・設計における品質確保の考え方<br>・県への報告・確認プロセスを効率化するための工夫  | A4×2枚<br>様式4-(3)-⑦                            | 15点   | ・詳細設計内容に不備が無い、設計の品質を確保するための方法が具体的かつ有効なものとなっているか。<br>・県への報告・確認プロセスの効率化が期待できる具体的な提案がされているか。   |
|                        | 8 発電諸元の設定、施設の設計   | 次の点を含めて記載してください。<br>・有効落差や水車型式の最適な発電施設規模の設定（発電出力、運転範囲（使用水量、ダム水位）、有効落差、損失落差、発電電力量の試算、水車形式、総合効率等）<br>・FIT制度新設区分認定のための工事の範囲とその具体的な内容  | A4×6枚<br>様式4-(3)-⑧                            | 40点   | ・最適な発電設備規模の設定に至るまでのプロセスが妥当であるか。<br>・売電収入が算出できる発電諸元が整理されているか。<br>・売電収入の増加が見込まれる技術革新等の創意工夫の提案があるか。<br>・FIT制度新設区分認定のための工事の範囲が理解されたうえで、建設に向けた実現性の高い具体的な内容が提案されているか。   |
|                        | 9 建設における課題解決策   | ・発電施設建設にあたり、課題となっている事案の具体的な対応方法  | A4×4枚<br>様式4-(3)-⑨                            | 20点   | ・発電施設建設にあたり、課題となっている事案の具体的な対応方法が提案されているか。   |
|                        | 10 運営効率化に資する新技術の導入  | 次の点を含めて記載してください。<br>・運営効率化に資する新技術の導入提案   | A4×2枚<br>様式4-(3)-⑩                            | 15点   | ・新技術の導入により、発電所の運営の効率化に向けた実現性の高い具体的な提案がされているか。   |
|                        | 11 収益性  | 次の点を含めて記載してください。<br>・ライフサイクルコスト削減策<br>・改良修繕計画  | A4×2枚<br>様式4-(3)-⑪-i<br>A3×3枚<br>様式4-(3)-⑪-ii | 40点   | ・売電による収入と収益（20年間と40年間）※2が確保されているか。<br>※2) 20年間と40年間の収益は県で算出し評価する。<br>・ライフサイクルコストに配慮した具体的方策が示されており、実現性の高い提案がされているか。<br>・施設の長寿命化が期待できる保守点検やその費用、予防保全の考え方等が盛り込まれた具体的な改良修繕計画（40年程度）が提案されているか。   |
|                        | 12 建設工事計画及び施工監理方針   | 次の点を含めて記載してください。<br>・仮設計画を踏まえた施工計画<br>・工事における安全管理<br>・試運転計画と実施内容<br>・施工監理方針及び補完が必要な事案とその対応策<br>(各専門分野や工種間における総合技術調整)   | A4×4枚<br>様式4-(3)-⑫                            | 30点   | ・具体性と実行性が備わった施工計画が提案されているか。<br>・安全管理に関する方針が示されており、具体的な工夫が見られるか。<br>・試運転試験における作業計画、試験内容について具体的な方法が示されているか。<br>・各専門分野や工種間における総合技術調整が必要となる事案とその対応策について、施工監理の観点から具体的に提案されているか。  |
| 13 地域貢献<br>(周辺環境への配慮等) | 次の点を含めて記載してください。<br>・騒音、振動、粉じん、濁水等による周辺環境への影響の低減方法<br>・搬出入車両、工事ヤードの管理方法<br>・撤去、処分の取扱い | A4×2枚<br>様式4-(3)-⑬   | 15点   | ・工事による周辺への影響を十分に想定できているか。<br>・周辺環境への影響を最小化するため、搬出入車両管理や騒音、振動、粉じん濁水対策における工夫が示されているか。<br>・撤去、処分対象となる建設廃棄物について、適切な対応が提案されているか。 |   |

A4×40枚 320点

| 価格評価項目   |                                       | 配点 |
|----------|---------------------------------------|----|
| 価格に関する項目 | 最も低い価格提案の金額 × 80<br>当該応募者の提示する価格提案の金額 |    |

80点

| 非価格評価項目 + 価格評価項目 |  | 配点   |
|------------------|--|------|
|                  |  | 400点 |